

はい!

# やくも町議会

第 81 号  
令和 6 年 5 月

編集/議会広報広聴常任委員会

八雲中学校(上)・熊石中学校(下)の生徒さんです。

学校生活や夢について語っていただきました。(20ページ「耳をすまして」)

## 主な内容

	ページ
○令和6年度注目の予算 .....	②
○ここが知りたい今年の予算 .....	④
○補正予算 .....	⑨
○5名の議員が町政を問う(一般質問) .....	⑩
○新役場庁舎等整備事業について .....	⑮
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会) .....	⑰
○常任委員会の活動(所管課報告) .....	⑱
○八雲中学校、熊石中学校の皆さん(耳をすまして) .....	⑳

議会を傍聴してみませんか?



ホームページアドレス <https://www.town.yakumo.lg.jp>

# 第1回定例会

令和6年3月7日～3月15日

特別会計予算等が審議され賛成多数により可決されました。



完成イメージ図

## キャッシュレス決済導入事業

538万8千円

町民の利便性を図るため  
キャッシュレス決済を導入  
導入箇所：戸籍住民窓口  
(本庁舎・熊石総合支所・落部支所)

## 証明書等コンビニ交付事業

1,052万4千円

証明書等のコンビニ交付システムを導入



# 注目事業

## サーモン養殖付加価値向上推進事業

407万1千円

北海道二海サーモンの品質向上・販路拡大・  
養殖技術向上や調査研究に対する補助金

## 木彫り熊100周年記念事業

672万1千円

100周年映像制作・放送、講演会・トークイベント等開催

## 八雲山車行列補助金

450万円

## 熊石あわびの里フェスティバル補助金

350万円

本年は八雲山車行列40回目、  
熊石あわびの里フェスティバル30周年となるため、  
両イベントへの補助金を増額

## 落部漁業協同組合事務所建設事業

3億1,938万5千円



## 地域おこし協力隊配置事業

8,610万3千円

地域活動に従事する都市住民を受け入れし、  
その後の定住を目指す。継続16名・新規3名



# 令和6年

第1回定例会は上記の日程で開かれ、令和6年度一般会計予算、

## 熊石国保病院建替事業 21億1,386万5千円

完成イメージ図



## 新役場庁舎等整備事業 7億287万3千円

旧国立病院解体工事  
5億9,877万4千円  
旧養護学校内部改修工事  
1,870万円  
新庁舎整備実施設計業務  
8,136万円  
他

## 熊石漁港ふれあい広場整備事業 4,524万3千円

熊石漁港ふれあい広場にブルーカーボン取組推進のため、  
ホタテ貝殻を含んだ舗装を整備



# 令和6年度

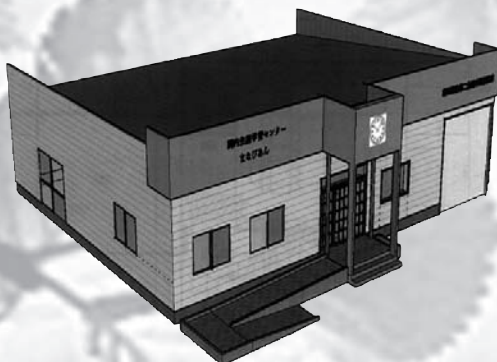
## サーモン種苗生産施設整備事業 8,537万9千円

熊石サーモン種苗生産施設の  
拡張に向けた各種調査・設計業務

- ・実施設計業務 6,463万6千円
- ・流量検証等調査業務 1,074万7千円
- ・地下水源試験調査業務 962万5千円
- 他

## 熊石 関内地域会館新築工事 1億7,332万7千円

## 熊石 関内地区消防格納庫新築工事 3,898万5千円



完成イメージ図



右のQRコードから  
予算委員会の中継を  
見ることができます



1日目



2日目



3日目

# 今年予算！



みやもと まさはる  
宮本 雅晴 委員長

## 総括質疑

**Q** 風力発電設備建設について自然環境の保全という観点から、いかがなものかと思っているが、町長の考えは。(佐藤)

**A** 調査結果を見ながら、関係団体の意見を聞き、判断していきたい。(町長)

**Q** 航空自衛隊八雲分屯基地で昨年夏に米軍との共同訓練があったが、受け入れるべきではないのでは。(佐藤)

**A** 基地の活用を要望した結果によるもの。町民に影響が出るような場合は考えていかなければならない。(町長)

**Q** 人口減少が進んでいる今、人材確保と育成が喫緊の課題である。どのように考えているのか。

また、土地や建物の購入、地域会館の建設など町有財産が増えているが、人口減少が進む中で持続可能なまちづくりのあり方をどのようにとらえているのか。(赤井)

**A** 人材確保の難しさを痛感している。町と議会と町民が知恵を出

し合って対策を考えていかなければならないと思っている。

建物の購入や建設は、災害時の避難所としての機能や、移住・定住の促進などのため必要であると考えます。(町長)

## 総務費

### 新役場庁舎等整備事業

**Q** 実施設計が今年度行なわれることもあり、改めて新庁舎に関する町民説明会を開いてほしい。昨年6月の説明会では、メンテナンス費用に森林環境譲与税が使えること等の説明はなかった。(三澤)

**A** 設計業者とともに全員協議会で説明をする予定であり、町民説明会はしない。公民館の利用者には設計業者が直接説明し、広報等で進捗状況を報告していきたい。(町長)

### 災害備蓄品整備事業

**Q** 災害備蓄品で女性に配慮する用品は増えているか。(倉地)

**A** 大人用のおむつや女性の生理用品等、令和5年度予算の執行残で購入している。(係長)

### ふるさと応援寄附金奨励事業

**Q** ふるさと応援寄附金が増えたことへの検証はどう分析しているか。(関口)

**A** サイトを増やして多くの人に見てもらうことや、特定の商品が伸びることでランキングの上位に載ることなどにより寄附額が増えたものと判断している。(係長)

**Q** ウィスキー事業にクラウドファンディング型ふるさと納税を絡めるなど、工夫が必要ではないか。(関口)

**A** 状況を見ながら様々な方法を考えていきたい。(課長)

### ウクライナ避難民等受入事業

**Q** 関係人口の受入等による施設の有効活用とあるが、その内容は。(赤井)

**A** 避難民受入は現在1世帯のみとなっているため、残りの空き部屋を、連携協定を結んでいる大学等に貸すなどして有効活用を図っていきたい。(課長)

**Q** 連携協定以外の大学や研究機関に貸すことで、八雲町のPRになるのでは。(赤井)



# 予算委員会質疑

## ここが知りたい



まきの ひとし 副委員長  
牧野 仁

【A】 まずはウクライナからの避難民が中心だが、今後は民間を圧迫をしないようなルールづくりをしていきたい。(課長)



避難民受入施設 (出雲町)

### 自治体情報システム標準化・共通

#### 化事業

【Q】 標準化とは何か。(佐藤)

【A】 住民記録や地方税、福祉といった業務を処理する総合行政システムは、これまで各自治体が個別に運用してきたが、令和4年に成立した標準化法では自治体が行う主な業務を国の仕様に合わせることで義務づけられ、令和7年度末までに移行しなければならない。(係長)

### 街路灯電気使用料助成金

【Q】 町道の街路灯は一部町内会が

負担しているが、全部町負担にできないか。(牧野)

【A】 以前から町内会が街路灯の電気料を負担していることに疑問があった。今すぐとはいかないが無償にしたいと思っている。(町長)

### 地域会館整備事業

【Q】 熊石の地域会館を新築する際、町が備品についても整備しているが、八雲地域では町内会が整備していると聞いている。(三澤)

【A】 備品購入については、指定管理者が負担することになっている。(課長)

【Q】 現状、八雲地域と熊石地域では違いがあるようなので、ルールを決めてはどうか。(大久保)

【A】 ルールとしてしっかり決めていきたい。(町長)

### 証明書等コンビニ交付事業

【Q】 いつから、こういった証明書が取れるのか。(三澤)

【A】 令和6年度末か令和7年4月から始めたい。現段階では、住民票と印鑑証明書を全国のコンビニエンスストアで発行できるように考えている。(課長)

### 職員費

【Q】 会計年度任用職員は扶養手当や住居手当が支給されない。町独自で支給はできないのか。(横田)

【A】 国の事務処理マニュアルに基づいて制度を構築しており、町独自では難しい。(課長)

【Q】 健康管理休暇(生理休暇)は、正職員では有給で認められているが、会計年度任用職員は無給である。この差の理由は。(三澤)

【A】 国の制度に準じているが、不合理だと感じている。今後、検討していきたい。(課長補佐)

### 商工費

#### 商工振興事業費補助金

【Q】 転入された方が商店名を知らないということは大きな課題であると思う。商工会と協力しながら知名度を上げていく必要があるのではないか。(赤井)

【A】 補助金を出していることもあり、今後、商工会と一緒に取り組み、町としても応援していきたい。(町長)

隊が八雲町を紹介する「やくもにじいろマップ」を作成したが、周知方法も考えていきたい。(課長)



やくもにじいろマップ

### 道南休養村管理事業

Q リヤカータイヤ修繕49万1千円の内容とリヤカーの保有台数は。(横田)

A リヤカーのタイヤ修繕は毎年計画的に行っており、令和6年度は7台分のタイヤホイール14本を予定している。リヤカーは全部で23台所有している。(課長)

### 登山道管理業務委託料

Q 登山道管理業務委託料の内容は。また、入山者の管理は。(牧野)

A 雄鉾岳の登山道の整備や山の家周辺の管理をしているワンダーフォーゲルという団体に対する委

託料。入山する人の名前は名簿に記入している。(課長)

Q 23万4千円の委託料の内訳は。(三澤)

A 1万4600円×2人分×8日間となっている。団体からは管理が大変という話を受けているが、予算の範囲内での管理をお願いしている。(課長)

### 農業費

### 森林環境譲与税積立金

Q 森林環境譲与税積立金、1800万円増の基準は。(斎藤)

A 令和5年度から令和6年度は、私有林、人工林面積が50%から55%に、林業就業人口割合が20%のまま、市町村の人口割合が30%から25%に変更、また、国からの割合も市町村は88%から90%に、都道府県は12%から10%に変更となったことで市町村の割合が高くなった。私有林については、国の補助を活用している。(課長)

### 豊かな森づくり推進事業

Q 木や森を育てる仕事はとても大切である。学校の授業として取

り組めないか。(赤井)

A 木育は大切だと思う。前向きに進めていきたい。(町長)

有言実行！(赤井)

### 水産費

### サーモン養殖付加価値向上推進事業

業 Q 養殖試験が終わったが、サーモン養殖部会の今後の取り組みは。(斎藤)

A 令和6年春の水揚げまでに会社を設立することで進んでいる。販売についてはひやま漁協が主体となり販路の開拓をしていく。(課長)

Q 町の支援がなければ先細りになっていくと思われるが、合同会社を作っていくということで期待している。今後もしっかりと支援してほしい。(斎藤)

A 今後は漁業者の確保が大切であり、漁協と連携し、漁業者の育成に努めていきたい。(課長)

### サーモン種苗生産施設整備事業

Q 水利権を得るために予備設計

だけではなく実施設計が必要なのか。(赤井)

A その川から必要な水を利用しても他に影響がないことを申請側が証明するために必要。(室長)

Q 実施設計、約6400万円の内容は。(赤井)

A これから道と協議をして進めるが、水量を増やすことを前提に、取水口部分の設計、養殖育成水槽までの導水管路の設計や導水管などが沈下しないか確認するための土質調査、サーモン種苗を育成する養魚水槽の設計、排水溝部分の設計、機械電気設備などの付帯設備の実施設計になっている。(室長)

Q 水利権申請のために必要ということだが、水利権が取れなかった場合でも、この設計で進めていくのか。(赤井)

A 北海道の見解では、実施設計を進めるということは、水利権の許可が下りることを前提としていることと、町としてもそのような見解で進めている。(町長)

Q これだけの水がなければ目標の種苗が育てられないのか。町長

は以前、儲からなかったらやめるという発言をしていたが、その辺の判断についてどう考えるのか。

(赤井)

Q 酸素を十分に使って少ない水で育てているところもあるが、経費がかかる。水があると維持費はかからない。今後、北海道や関係機関と話し合いながら実施設計の金額についても検討していきたい。

A サーモン養殖は北海道の中で広がっていくと考えた場合、幼魚を生産しても商売になり得るし、熊石地域の産業の活性化、また新しい産業の創出からいつてもできるものと考えている。(町長)

Q 多額の費用をかけているのだから、熊石地域にとって持続可能な取り組みになるよう真剣に取り組んでほしい。(赤井)

A なるべく経費をかけないように進めるが、都市部でのサーモンの評判は良く、ふるさと納税にもつながっている利点もある。(町長)

### 痩せウニ実入り向上試験事業

Q 事業期間とその後の方向性は。(赤井)

A 藻場造成のために駆除しているウニに餌をやり商品化する研究を令和3年と令和7年まで北大と共同で行っている。今後については漁協とも相談しながら、増やしていきたい。(課長)



### 土木費

#### 空家等対策事業

Q 移住してきた人が空家を活用した時に出る補助なのか。(赤井)

A 空家を買って改修した場合に1件100万円を3件分予定している。移住者のほか町民でも活用できる。(課長)

Q 壊す予定の町営住宅を町民に販売することは考えているか。(三澤)

A 現在、売り払いは考えていない。(三澤)

いが、今後は検討していきたい。(課長)

Q 空家の取り壊し補助は今後も継続できないか。また、改修が難しい建物に対しての解体補助も考えてほしい。(横田)

A 解体に重点を置かず、移住定住を考えると改修も必要。今後、解体と改修のバランスを考えながら対応していく。(町長)

### 教育費

Q 昨年度のいじめ報告は何件であったか。また、その認知方法は。(三澤)

A 小中合わせて30件。認知の方法は定期的に行ういじめ調査のアンケートによる把握、子どもたちの様子を見ながら職員間の意見交換による把握、担任の目から見た状況の把握となっている。その他、保護者や地域からの訴え、また本人からの訴えにより把握している。(参考)

Q 不登校やいじめに対応する職員を配置する考えはないのか。(三澤)

A 八雲町では、子育て支援センターとの連携やスクールカウンセラーの力を借りながら、組織的に対応している。(教育長)



### 病院事業会計

Q 医師確保について、もっと違ったアプローチの仕方も必要ではないか。(関口)

A 医師確保に関しては十分な成果は得られていない。コンサルタントからは住宅環境や勤務環境には魅力を感じると評価されているが、八雲町そのものが全国的に知られていないということもあり、ホームページなど工夫しながら総合病院の良さをアピールしていきたい。(事務長)



Q 将来の病院経営をどのように考えているか。(関口)

A 国は人口減少に合わせて医師を減らす方向で考えているため、地方病院の医師確保は難しくなっている。人口が減っても病院は守っていく必要があるため、経営改革を進めながら、国や北海道に強く要請していく。(町長)

Q 働き方改革で、病院は今後どのように変わっていくのか。また、病院の人件費比率は。(斎藤)

A 即時に診察を必要としない患者の受診(コンビニ受診)を減らしていくような対応も考えていかなければならない時代になっている。また、医療DXによるデータの活用や勤怠管理システムの導入などにより、看護師や事務職員の負担軽減を図り、働き方改革に対応していきたい。

人件費比率は、令和5年度において、総合病院では90%の見込み、国保病院では80%を超える見込みとなっている。(事務長)

Q 待ち時間の短縮やオンライン診療、待ち時間中の相談コーナー

などの設置、電話による相談は可能か。(赤井)

A 夜間の電話による相談は現在もやっている。待ち時間の短縮、利便性の向上については対応を考えていきたい。(事務長)

Q 総合病院を受診した際に、ポイントを付与する制度はできないか。(三澤)

A 病院を受診したことにより何らかのポイントがたまることで住民の皆さんに利益が還元できるような仕組みは関係部署ともいろいろ協議しなければならないが、研究してみたい。(町長)



### 予算審査報告書 付帯意見(要旨)

①新役場庁舎整備事業については、昨年6月に住民説明会を開催し、すでに実施設計に着手しているが、町民からは、庁舎のデザインに対して、いまだに反対する声が議会に届いている。このことから審査において、再度の住民説明会開催の必要性について意見を交わしたが、町としては開催する考えはないということであった。

この事業は、八雲町にとつては重要かつ大規模事業であるからこそ、町民の声を真摯に受け止め、進めなければならないものであることから、再度の住民説明会を開催し、町民の声を聴いたうえで、そのことを充分反映し進めていただきたく、強く要請する。

②サーモン種苗生産施設整備事業については、令和6年度予算において6463万6千円の実設計業務委託料が提案されたが、その根拠となるであろう予備設計の報告が事前になかった。

また、熊石漁港ふれあい広場整備事業においては、総務経済常任委員会への報告が2月に行われており、令和6年度予算に向けた意見反映ができない時期での報告であった。

令和6年度予算に関する常任委員会への報告は、議会としても意見反映できるよう昨年9月にお願していたが、本特別委員会での十分な審査を行うにあたり、今後においては、事前の委員会への報告について、切に望むものである。



## 第1回定例会

### 令和5年度一般会計補正予算

# 5億5,501万5千円追加

(補正後の総額 213億9,327万7千円)

第1回定例会は3月7日から3月15日まで開かれました。  
令和6年度一般会計予算、令和6年度各特別会計予算、条例改正、財産処分、補正予算等  
議案39件、報告2件、諮問1件について審議いたしました。

そのなかで追加提出された令和6年度一般会計補正予算において、議員内において審議が  
不十分だと主張する議件が含まれており、反対8、賛成4をもって否決となりました。

そのほかの議案等は賛成多数により可決されました。

## 補正の主な内容

小学校空調設備整備事業	1億6,844万円
中学校空調設備整備事業	3,755万8千円



### 令和6年度補正予算(鉛川観光施設関連) についての経過と今後の展望

第1回定例会で追加提出された令和6年度一般会計補正予算において、歳入で建物貸付収入120万円が含まれていました。これは鉛川レクリエーションセンターの令和6年度の年間賃貸借契約料ですが、この契約は本来であれば令和5年度末(6年3月31日)をもって契約期限を迎えるものでした。本件については、町と貸付相手において施設改修及び譲渡についての協議が続けられている状況下であり、改修が行われていない現状での譲渡は難しいと判断した町が、貸付期間を延長して貸付相手と協議を続けることを前提とした予算上程でした。

本会議では、継続協議中の案件のため、審議が十分尽くされていないこともあり、採決の結果、反対8人、賛成4人(欠席1人)で否決されました。

その後、改めて全員協議会において町側から契約期間延長の説明を受け、議員間協議を行い、3月26日開会の第2回臨時会において、前回と同様の補正予算上程でしたが、賛成7人、反対6人の結果をもって、令和6年度一般会計補正予算は可決されました。またこの可決をもって、町と貸付相手との鉛川レクリエーションセンター定期賃貸借契約の期間についても、令和6年度末まで1年間の延長が認められることとなりました。

この可決にあたっては、賃貸借物件である鉛川レクリエーションセンターを含め鉛川観光施設へと供給されている、水・温泉(水道施設・水道浄水設備・温泉供給設備 ※全て町有施設)供給施設の譲渡についても、今後1年間延長された契約期間内で、「早期に譲渡できるよう相手方と前向きに協議をしていく」と、審議のなかで町側の考えを確認されたことが大きな要因でした。

水・温泉の供給施設については、契約相手側より水道料・温泉分湯料の納入はされているものの、毎年度、維持・管理に多額の費用を費やしてきており、施設の老朽化が進むなか、維持・管理費用はさらに増加していくことが予測されています。

行財政改革の観点からも、民営化を行い、より効果的・効率的な運営を進めることが、永きにわたり望まれてきたところです。出来るだけ早期に、水・温泉供給施設を相手方との間で円滑に譲渡することこそが、一連の鉛川観光施設関連の議論における最大の目的であります。

当然のことながら町有施設(町有財産)の譲渡であることから、議会としても「町民に理解を得られる形での円満な決着」を、導き出していかなければならないと考えます。

# 一般質問

# 町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

会計年度任用職員の給与等について

よこたきよし 横田喜世志 議員



問

令和5年8月7日、人事院は俸給表改定と一時金引き上げを勧告した。若年層だけではなく、再任用職員も含むすべての職員に及ぶ俸給引き上げ、期末・勤勉手当も引き上げる勧告となった。

八雲町は令和5年12月議会で、一般職員の給与に関する条例の一部改正を可決していたが、会計年度任用職員も同様の扱いとなっているのか。  
**町長** 人事院勧告に則り「八雲町一般職員の給与に関する条例」を改正し、正規職員の給料表の改

問

同様に扱うという通達、通告、通知というものが出ている。八雲町の会計年度任用職員の規則も改定していかなければならないと思うが、考えを伺う。

**総務課長**

労使の協議も必要であると思うので、組合との協議も考えている。

**会計年度任用職員**

地方公務員法の改正に伴い、令和2年度から導入された非常勤職員の制度。従来の臨時職員や嘱託職員に代わるもの。会計年度内での任用となる。

## 議会これからの予定

《5月》	13日	第3回臨時会
	16日	総務経済常任委員会
	31日	文教厚生常任委員会
《6月》	5日～7日	議会運営委員会
	13日	第2回定例会
	20日	全員協議会
		広報広聴常任委員会
		議会運営委員会
		総務経済常任委員会
		文教厚生常任委員会

## 議会を傍聴してみませんか

次の議会は、  
**令和6年第2回定例会**  
**6月5日(水) 午前10時から**  
開会の予定です。  
お気軽に足を運んでみてください。  
YouTubeで映像配信もします



Q みんなで防ごう災害関連死！

あかい 赤井 むつみ 睦美 議員



**問** 2024年は、能登半島の大地震という衝撃的な年明けとなり、今なお過酷な避難生活を強いられている方が大勢いて、関連死

も増えるのではないかとという危機感を募らせる声もある。冬の災害関連死への対策として、トイレ、キッチン、ベッド、WIIウォーム（暖房）がキーワードと言われているので、是非、八雲町で「トイレトレーラー」「キッチンカー」「ワンタッチ簡易ベッド」を導入すべきではないか。トイレトレーラーの導入には、「災害派遣トイレネットワーク」に参

加し、国の緊急減災・防災事業費を利用すれば7割の軽減負担ができ、残りはふるさと納税型クラウドファンディングの活用で、自治体負担はほぼゼロ。更に今、日本版キッチンカーが検討されているので、情報収集をしっかりと行い、段ボールベッドと共に、収納場所を取らずゴミにもならず、何度でも使える簡易ベッドの導入、さらに、同規模自治体との連携協定も必要ではないか。

**町長** 4月から危機対策課を設置し、様々な災害への対応を考えていく。新庁舎の敷地内に防災公園を置き、そこにトイレトレーラーやキッチンカーを配置し、普段も活用しながら災害時にはうまく活用できるように、十分検討していく。小牧市とは連携しているが、渡島・檜山の町村会とも連携し、災害訓練も含め、災害対策に力を入れていきたい。



災害トイレトレーラー

Q 八雲町が目指す 人材育成とは？

**問** 八雲町は、2016年から産業人材確保・育成事業を計画して取り組み、その総括もあやふやなままに、2020年に産業に携わる人材を自治体、商工業界が丸となって育てる目的で「木蓮」を設立。更に今、熊石地域の「すまいる」を購入し、そこを拠点に

関係人口の拡大を図るべく、若者の力を投入しようとしているが、どちらも会員は仕事をもっていて、副業的な関わりしかできない状況。そのようなやり方で、持続可能な取り組みを展開することが可能なのか。

- ① 2016年からの産業人材確保・育成事業の取り組みをどう総括しているのか。
- ② 人材育成の持続可能な取り組みをどのように展開していくのか。
- ③ 八雲町が目指す人材育成とは何か。

**町長** 人材育成・確保事業の成果として、酪農業では研修牧場の設立、商工業においては「まちづくり会社」の設立に繋がったが、すべての課題解決には至らなかった。

持続可能な取り組みにするためにも人材確保は急務。各分野の状況に合わせ、効果的な施策を研究し展開していく。庁舎内の機構改革も、新庁舎になってからと考えていたが、各課の連携等を考えるとそれでは間に合わず、今からやってみようと考えている。

人材育成は永遠の課題であるが、民間の力も活用しながら、若い人ができるだけ永く勤め、スキルアップも大切だが、それ以上にメンタルが崩れないよう気を付けながら取り組んでいきたい。

Q 災害に備えるには

議員 ともこ 佐藤 智子



問 1月1日の能登半島地震は、

いつ、どこで起きるかわからない

災害を想定させた。以下伺う。

①福祉避難所の指定は。

②防災ラジオの貸与は。

③地域会館に発電機を。

町長

①福祉避難所は災害発生

時に一般の避難所では生活が難し

く何らかの特別な配慮を必要とす

る方を受け入れるための施設で、

当町では平成30年度に町内の特別

養護老人ホーム2施設と協定を締

結している。災害時に必要と判断

した場合、町が当該施設に開設を

要請する。ホームページに掲載が

ないのは、想定外の避難者への対

応に支障が生じる懸念があるため

福祉避難所の必要性については十

分に認識している。

②国からの緊急情報など防災情報

が自動的に大音量で流れる防災ラ

ジオは北斗市が75歳以上の高齢者

に無償貸与している。防災ラジオ

は設置工場の必要がなく、費用面

でも優れているが、地域のコミュ

ニティ放送の電波を使用し、運用

しているようなので、当町に確実

に情報伝達できる電波があるのか

調査が必要。

③大規模災害によって道路が寸断

され、避難所に発電機が搬送でき

ない場合を想定し、あらかじめ備

蓄しておくことは有効だ。機材や

費用などについて調査しつつ、町

内会等とも運用面での協議が必要

と考える。

問 要配慮者には妊産婦や乳幼

児等も含まれる。専用の避難場所

として町内の宿泊施設等と協定を

結び、福祉避難所として指定する

考えはないか。

町長

大変良い考えだと思う。

ホテルや旅館等を含めて話し合い

ながら協定を結ぶことは大切だ。

問 災害時に備える戸別受信機

やスマホ採用が進まない状態の中

防災ラジオをぜひ考えていただき

たいが、どうか。

町長

ラジオよりも目でも確認

できるタブレットを考えている。

8千世帯ほどに全戸配布した場合

の見積もりを出している。なるべ

く早めに議会とも相談したい。

Q 補聴器助成、推進を

問 昨年8月、「補聴器購入助

成を求める実行委員会」から、8

21筆の署名と要望書が町長に届

けられた。町長も真摯に受け止め

文教厚生常任委員会に対し、事業

案の報告があった。しかし、各委

員から対象年齢や助成回数を見直

すよう求める意見、事業実施を疑

問視する意見などが出され、町は

再度、検討することになった。そ

の後の状況を伺う。

町長

65歳以上の中等度難聴で

町民税非課税世帯の方、3万円を

上限として購入費用の2分の1を

補助、助成回数は一人一回とする

ことなど事業の検討案を昨年10月

の文教厚生常任委員会において報

告した。各委員から内容について

様々な意見が出され、必要性を疑

問視する反対意見も出された。

検討状況は、実際の購入費用や

買い替えの頻度など実態を把握す

ることとし、販売業者への調査を

行う予定。一旦、立ち止まり、目

的の明確化と事業の効果を見込め

るかなど改めて検討したいと考え

ている。

「補聴器の使用は認知症のリスクを下げる」という論文もありますよ。(三澤)





Q 災害の備えは大丈夫か？

みさわ 三澤 議員  
きみお 公雄



問

①災害時には、役場職員だけではマンパワーが足りない。事前に応援してくれる町民有志を募り、得意分野ごとに登録しておくというのはどうだろうか。町外からの応援隊、ボランティア等の受け入れ体制は整っているか。また、ボランティアを受け入れて救援作業等をしてくれた方に、何かの「謝礼」（自費負担など）ができる条例などの整備も必要ではないか。

②被災された住民から被災や付近の災害情報が受け取れるようない。

LINEの活用はできないか。住民の安否確認や自宅避難を選んだ方々の把握にも役立つのではないか。

③避難生活での「寒さ」への備えとして「温かい食事の提供」や「身体が芯から温まる入浴」「寒いトイレには行きたくない・・・」にも対応すべきではないか。

④家具倒壊に関して、各世帯の家具・家財の固定状況を高齢者のいる世帯だけでも把握するべきでは。

⑤新庁舎には議会からも提言して、非常時の「マンホールトイレ」で対応するようになっていくが、下水道に頼れない状態も考えなくてはならないことから、合併浄化槽などを検討し、上下水道、共に外部から独立して成り立つ方法を検討すべきではないか。

町長

①建設協会と災害時協定は結んでいるが、訓練はしていない。

ボランティアの受け入れは社会福祉協議会などの連携も必要と考える。4月から新設される危機対策課で新しい視点に対応した協議を進めたい。

②自宅避難された方々の情報把握は課題である。全戸にタブレットを配り、普段でも交互に情報交換ができるようにと考えている。

③温かい食事やトイレ、お風呂も「自衛隊に頼れる」と考えている。赤井議員の質問でも答えたが、キッチンカーやトイレトレーラー

は購入を検討したい。移動入浴車も検討してみるが、新庁舎敷地内の別な建物に災害時にも使える入浴施設というのも研究したい。

④家具・家財の固定状況については、今は把握していない。

⑤新庁舎を浄化槽で対応したいと思っていた。今は災害時のトイレも敷地内の別施設で対応したいと考えている。上水道が止まることは想定していないが、緊急時に総量8500リットルの飲料水を運び込む機材の備蓄はしている。



以前から「自衛隊に頼る」という言葉が散見されていたが、自衛隊派遣は知事要請なので町長の思っようなタイミングでの活用には疑問符が付く。

本当に「すぐ隣の・・・」「頼んだら来てくれる・・・」と考えているとしたら「事実誤認」だと思ふ。

別な機会でも再確認をし、誤解を解かなくてはなりません！

(三澤)

危機対策課の町民への浸透を図るなら、こういった啓蒙活動の担い手としても期待したい。

(三澤)

Q 戸建て木造住宅の耐震化について

さいとう 齊藤 まこと 議員



**問** ①町広報には戸建て木造住宅の無料耐震診断の案内を載せているが、利用されていない現状をどのように分析しているか。

②北海道の耐震補助制度はどのようになっているのか。また、耐震化促進のためのパッケージ支援はどのような制度か。  
③耐震改修工事が利用が少ないのは、所有者の負担が大きいかと、補助制度が利用しづらいことにある。利用しやすい補助制度を構築すべきと思うが、考えを伺う。

**町長** ①利用がない背景としては、今まで八雲町内では地震に起因する住宅被害がほほえないこと、費用を出してまで改修する人が少ないのではないかと推察しており、地震対策に対する意識が低いものと感じている。

②国では「住宅・建築物安全ストック形成事業」として耐震診断、補強設計については国と地方が3分の2を補助、耐震改修については国と地方が23%負担し、限度額100万4千円を補助する支援を行っている。また、「パッケージ支援」とは、補強設計と耐震改修を一体として行うことで、国と地方が8割を負担し、限度額120万円を補助する内容となっている。  
③補助制度については需要が低いものと考えているが、耐震化の重要性を啓発し、検討していきたい。

Q 町民参加には

具体的な政策を

**問** 活力あるまちづくりには町民参加が必要と考える。関係人口と協力し、新しい仕組みづくりとして、ふるさと納税を活用した持続可能なまちづくりに投資する基金を創設してはどうか。

**町長** 魅力的で持続可能なまちづくりの実現には、町民の参加が不可欠であると考えているが、今すぐ基金を創設することは難しいことから、検討を進め、現状における様々な補助金や助成金の制度を有効活用しながら、自治基本条例に則り、町民からの要望をしっかり受け止め、それぞれの要望に沿った支援に繋げていけるよう努めていく。



新たに 議会広報モニターとして  
2名の方が加わりました!

令和5年4月から<sup>いしがめ</sup>石亀さん、令和6年1月から<sup>こやま</sup>小山さんが新たに議会広報モニターとして委嘱されております。

すでに委嘱されております水野さん、手塚さん、近藤さんをはじめ、モニターの皆様から貴重なご意見・ご提案をいただきながら、更なる議会広報の充実に努めてまいります!



# 新役場庁舎、経費削減案を再検討！

新役場庁舎等整備事業において、費用及び維持管理費の軽減を図るため、実施設計の変更案が示されました。基本設計の原案に比べ、大屋根部分が3階から2階へ下がり、軒高さが低くなった外観となっています。



町民説明会では、「ボリューム感を抑え、威圧感を軽減したヒューマンスケールの木立ファサード」は概ね好意的に受け止められていたようです！

昨年開催された町民説明会でも「町民への説明が不十分なのは」との認識が議会の中にあり、令和6年第1回定例会の予算委員会において、再度の町民説明会開催について質疑がありました。町長は町民説明会は開催しないとしていましたが、定例会最終日、「実施設計の変更案」が示された全員協議会において、「町民説明会を開催する」と答弁し、4月15日に町民説明会を開催する運びとなりました。

## 一般会議を開催しました（2月26日）

### 落部漁業協同組合

落部漁業協同組合事務所整備について、町の支援をいただくこととなりました。

地域住民が集う中核施設として、水産加工品・地域農産物の直売、地域の小中学校の課外学習としての利用など、有効に活用できるようにしたいと考えています。



### 株式会社木蓮

八雲高校ビジネス科との関わりで、仕入れ・売上げ、収益などを学べるような活動として、「駄菓子屋」を人材育成のひとつとして実施しました。

また、ペコレラ学舎では、イベント開催による体験観光などの事業を実施し、関係人口の拡大を図っています。



## 定例会・臨時会議件一覧

令和6年第1回臨時会（令和6年1月24日）			
議案第1号	八雲町手数料徴収条例の一部を改正する条例	報告第1号	専決処分の報告について （工事請負契約の一部変更契約締結について）
議案第2号	財産の取得について	報告第2号	専決処分の報告について （工事請負契約の一部変更契約締結について）
議案第3号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第10号）	報告第3号	専決処分の報告について （工事請負契約の一部変更契約締結について）
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて （八雲町一般会計補正予算（第9号））		
令和6年第1回定例会（令和6年3月7日～15日）			
議案第1号	令和6年度八雲町一般会計予算	議案第25号	財産の処分について
議案第2号	令和6年度八雲町国民健康保険事業特別会計予算	議案第26号	指定管理者の指定について
議案第3号	令和6年度八雲町後期高齢者医療特別会計予算	議案第27号	町道路線の変更について
議案第4号	令和6年度八雲町介護保険事業特別会計予算	議案第28号	新町建設計画の変更について
議案第5号	令和6年度八雲町水道事業会計予算	議案第29号	令和5年度八雲町一般会計補正予算（第11号）
議案第6号	令和6年度八雲町熊石地域簡易水道事業会計予算	議案第30号	令和5年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第7号	令和6年度八雲町下水道事業会計予算	議案第31号	令和5年度八雲町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第8号	令和6年度八雲町農業集落排水事業会計予算	議案第32号	令和5年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
議案第9号	令和6年度八雲町病院事業会計予算	議案第33号	令和5年度八雲町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第10号	八雲町監査委員条例及び八雲町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	議案第34号	令和5年度八雲町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第11号	八雲町課設置条例の一部を改正する条例	議案第35号	令和5年度八雲町病院事業会計補正予算（第2号）
議案第12号	八雲町職員定数条例の一部を改正する条例	議案第36号	八雲町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
議案第13号	八雲町長及び副町長の給料の特例に関する条例を廃止する条例	議案第37号	工事委託に関する協定の変更協定の締結について
議案第14号	八雲町一般職員の特殊勤務手当に関する条例及び八雲町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	議案第38号	令和6年度八雲町一般会計補正予算（第1号）
議案第15号	東日本大震災の被災者に対する町民税の減免に関する条例及び東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例を廃止する条例	議案第39号	令和6年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第16号	八雲町消防手数料徴収条例の一部を改正する条例	報告第1号	専決処分の報告について （工事請負契約の一部変更契約締結について）
議案第17号	八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	報告第2号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）
議案第18号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の公布に伴う関係条例の整理に関する条例	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第19号	八雲町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会委員会条例の一部を改正する条例
議案第20号	八雲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発議第1号	企業・団体献金の全面禁止等を求める意見書
議案第21号	八雲町農業研修者支援住宅条例を廃止する条例	発議第2号	被災者生活再建支援法の支援対象と支援金の拡充を求める意見書
議案第22号	八雲町育成牧場条例の一部を改正する条例	発議第3号	生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書
議案第23号	八雲町漁港用地管理条例及び八雲町水産基盤整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	予算特別委員会審査報告書	
議案第24号	八雲町あわび養殖漁業経営安定対策資金融資条例を廃止する条例	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	
令和6年第2回臨時会（令和6年3月26日）			
議案第1号	令和5年度八雲町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	議案第3号	令和6年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第2号	令和6年度八雲町一般会計補正予算（第2号）		



**異議あり!**

## 第1回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	赤井 睦美	佐藤 智子	横田 喜世志	大久保 建一	関口 正博	宮本 雅晴	倉地 清子	三澤 公雄	牧野 仁	安藤 辰行	斎藤 實	能登谷 正人	黒島 竹満	千葉 隆
議案第4号 令和6年度八雲町介護保険事業特別会計予算	可 決	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	△
議案第17号 八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	可 決	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	△
議案第38号 令和6年度八雲町一般会計補正予算(第1号)	否 決	×	×	×	○	×	○	×	×	欠	○	○	×	×	△
議案第39号 令和6年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ※提出者より撤回の申出	撤回の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	△
発議第1号 企業・団体献金の全面禁止等を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	△
発議第2号 被災者生活再建支援法の支援対象と支援金の拡充を求める意見書	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	欠	×	○	○	○	△

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

## 第2回臨時会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

議案第2号 令和6年度八雲町一般会計補正予算(第2号)	可 決	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	△
-----------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

### 議会広報の訂正とお詫び

議会広報第80号(令和6年2月号)3ページ「二海サーモン等調査特別委員会を設置」において、『土地の価格は100万円程度』『5,000万円の根拠が不明』との記載について、誤解を与える表現になっていました。

正しくは『土地・建物・設備・泉源を合わせた売買価格が5,000万円という町の説明に対して積算の根拠がはっきりしない』と訂正し、ご迷惑をおかけしました関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

議会広報広聴常任委員会

## 議会のうごき

### 《2月》

- 9日 全員協議会  
総務経済常任委員会
- 16日 全員協議会  
二海サーモン等調査特別委員会  
文教厚生常任委員会
- 29日 全員協議会

### 《3月》

- 1日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 7日~15日 第1回定例会  
予算特別委員会  
総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会  
広報広聴常任委員会  
全員協議会  
議会運営委員会

- 21日 全員協議会
- 26日 第2回臨時会

### 《4月》

- 8日 広報広聴常任委員会
- 11日 総務経済常任委員会
- 18日 二海サーモン等調査特別委員会  
文教厚生常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会



# 常任委員会 の活動

令和6年2月から令和6年4月の  
各常任委員会の活動です。

## 文教厚生

### ●修学旅行における最寄り駅への 送迎について（学校教育課）

町内の各小中学校の修学旅行の  
駅までの送迎については、スクー  
ルバスの登校時間と重なることも  
あり、保護者による送迎となつて  
いた学校もありましたが、各学校  
から最寄りの駅までの送迎は、教  
育委員会が行うこととなりました。  
共働きの増えている現在、送迎

をしてもらえることは、とても助  
かりますね。これで安心して修学  
旅行を楽しめますように！

### ●看護補助者処遇改善事業の実施 について（総合病院・熊石国保病 院）

他の職種より給与水準が低く、  
人材確保や定着が困難な看護補助  
者の処遇改善を行うことを目的に、  
看護補助者一人当たり月額平均6  
000円の賃金を引き上げる措置  
が講じられます。

対象期間：令和6年2月～5月  
対象者：病棟勤務の看護補助者  
（総合病院30名、国保病院13名）

6月以降の国の方針では、賃上  
げ効果が継続される取り組みを行  
うこととされています。

### ●災害時要援護者避難支援プラン の改定について（保健福祉課）

令和3年度に国の「災害対策基  
本法」の改正があり、避難行動要  
支援者ごとに個別避難計画を作成  
することが努力義務とされました。  
名称についても、「要援護者」は  
「避難行動要支援者」に、「個別支

援計画」は「個別避難計画」に変  
更しております。

すでに計画を作っている町内  
会や、これから作る町内会にも  
ご負担をおかけしますが、個別  
避難計画の作成にご協力いただ  
けたらと思います。

### 厚沢部町認定こども園を視察

文教厚生常任委員会では、くま  
いし保育園で保育園留学を検討し  
ているとの報告を受け、令和6年  
2月7日に、先進地である厚沢部  
町の認定こども園「はぜる」と、  
短期移住のための宿泊施設を視察  
してきました。

町内三つの町立保育園を一つに  
統合し、認定こども園「はぜる」  
として出発し、全国で初めて「保  
育園留学」を開始しました。子ど  
も中心の「のびのび保育」を目指  
し、園舎も広く活動的に作られて  
います。

同じ建物の中に「子育て支援セ  
ンター」と「発達支援センター」

も設置されていきました。園庭も  
元々あった公園を利用し、広いの  
はもちろん、わくわくするような  
遊具もたくさん！

更に畑もあり、子ども達が自ら  
野菜も育てているそうです。

保育園留学は、1～3週間、子  
どもは「はぜる」に通い、家族で  
厚沢部町に滞在できる暮らしを体  
験できるシステムです。

短期滞在のために、手ぶらで来  
てすぐに住むことが出来る住居も  
用意されており、視察時には新た  
に2戸が建設中であり、完成間近  
なところを見学できました。



建設中の宿泊施設



# 総務経済

## ●防犯カメラの設置について（総務課）

八雲駅前、八雲郵便局前、八雲小学校横の3箇所の電柱について、防犯カメラの設置が不可となった。理由は八雲駅前および八雲郵便局前の電柱については、既に架設されている共架者のケーブルがあるため、八雲小学校横の電柱については、低圧線が架線されているため、設置の許可が下りなかった。

通学路を歩く子ども達や一般歩行者の安全確保と交通安全の一層の啓蒙に資するためにとの事業でしたが、残念でした。  
令和6年度は電柱等の設置場所について再度検討する予定です。

## ●熊石漁港ふれあい広場整備事業について（産業課）

排水性が悪く地面が軟弱なため、イベント開催時に影響が出来ることなど改善の要望があったことから、

ふれあい広場の緑地5290㎡の舗装改修を行う。

### 【委員から出た意見】

- カーボンニュートラルを掲げる町が「緑地」を「舗装」で固めるのか。
- 新規事業が2月に報告されて、議論の余地がないのはどうなのか。

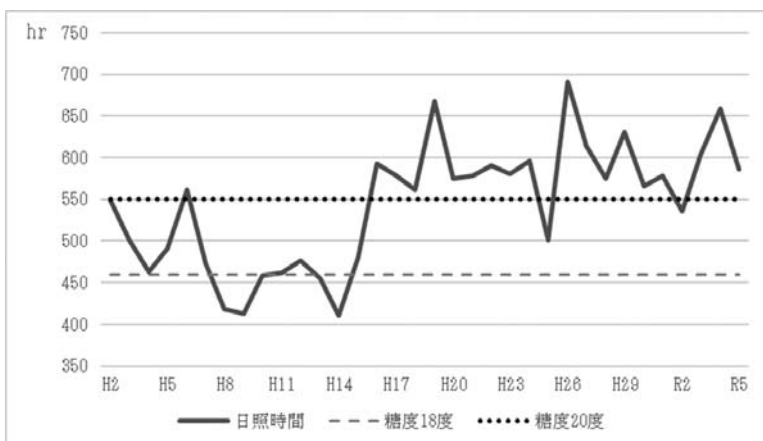
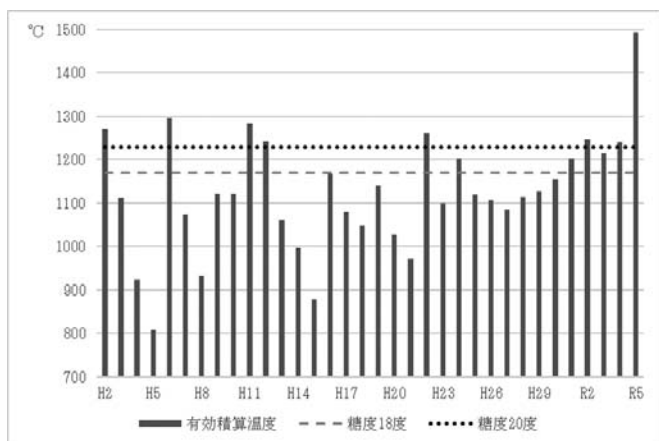
## ●醸造用ぶどう栽培状況について（農林課）

令和5年度のぶどうの生育状況は、天候にも恵まれたが、土壌改善、施肥設計、病害虫駆除の工夫・効率化などの管理技術の改善が功を奏して樹勢の回復が図られた。

上の湯地区では、令和3年に鹿による被害を受けた圃場に58本の補植をした。どの圃場も果汁糖度は、成熟に伴い上昇し完熟期には21・7度に達した。収穫したブドウは少量醸造の工夫をして、民間ワイナリーに依頼し試作ワインを醸造した。

秋頃には試飲会も期待しています！

令和6年度から三杉町の町有地を植栽場所として進め、品種もヤマ・ソービニオンから欧州系のシャルドネ、ピノ・ノワールを植えていく。  
管理作業等を担っている協力隊員2名は将来、ワイナリー経営の担い手となることを目指しており、道内の先進地ワイナリーにおいて、技術修得や人脈形成に努めているとの報告を受けた。



ぶどう栽培計画は令和6年度は20アールで600本、令和7年度は50アールで1500本、令和8年度以降は毎年70アールで2000本を植樹する予定。



# 耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

## 八雲中学校・熊石中学校の生徒さんです！

### 八雲中学校の生徒さん

**Q 中学校生活は楽しいですか？**

・部活で練習し、大会に出て、青春だなと思う。

**Q 新しい校舎はどうですか？**

・快適です。  
・暖房が効いているので温かい。  
・トイレも良くなった。  
・窓からの景色が、今までくすんで見えていたが、きれいに見えるようになった。

**Q 給食は美味しいですか？**

・美味しい。  
・好きなメニューは、ココア揚げパン、カレーレンコンチップス、さつま揚げ、牛乳、焼きそば、おしるこ、プリンタルト、ブロッコリーおかか和え、焼きメンチカツを挟んだパン。  
・黙食はなくなったけど、みんな静かに食べている。

**Q 八雲町は好きですか？**

・ハーベスターの八雲にしかないような特別感が好き。  
・育成牧場の展望台が好き。

**Q 八雲町にあったらいいなと思うものは？**

・ゲームセンター、マクドナルド、大きな書店、ファミリーマート、遊具が揃った公園、スイーツ食べ放題の場所。

**Q 買い物はどうしていますか？**

・八雲にないものはアマゾンで探す。  
・ほとんど八雲で揃う。

**Q 議員のイメージはどうですか？**

・激しく言い合っている感じ。  
・堅苦しい。  
・今回、実際に会ってイメージが変わりました。

### 熊石中学校の生徒さん

**Q 八雲町のいいところは？**

・日本で唯一、海が二つあるところ。  
・人が優しいところ。  
・自然が豊かで生命力にあふれている。  
・災害が少ないところ。

**Q 八雲にあったらいいなと思うところは？**

・学校にエアコンを付けてほしい。  
・受験生のメンタルケアをやったらどうか。

**Q 給食は美味しいですか？**

・嫌いなものもあるが、美味しいと思う。  
・きのこ類が苦手だが、大体完食している。

**Q 将来の夢は？**

・パソコンを使う仕事。  
・人の役に立てるやりがいのある仕事。  
・教育関係で、教師や保育士など。  
・大学進学。

**Q この取材の感想は？**

・何を聞かれるか緊張したけど、優しくて安心した。  
・堅いイメージだったが、フレンドリーでよかった。  
・熊石は過疎で発展していないから、熊石が発展していけるように頑張ってもらいたい。

・・・取材を終えて・・・

どちらの学校も、卒業後に八雲町から出る生徒さんが多かった。応援しているが、八雲町に戻って来たいと思えるようなまちづくりをしなければならぬと改めて痛感しました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局 ☎0137-62-2388) へご報告ください。

## 編集後記

ご縁あって、群馬県前橋市のまちづくりを手掛けたという方のフォーラムに参加した。タイムスルは「道南活性化フォーラム」で、道南の活性化に貢献したことを道南地域に感謝して活かすために来ていた。北海道の玄関口である函館を中核とした道南は、資源と伝統など多くの観光資源や交通のアクセスにも恵まれている。地域ブランドも撤退人口減少や商業施設の撤退など厳しい環境にある。その中で、他地域の取り組みや交流を通じて道南活性化のヒントになる話を聞かせた。先日、町内で行われた地域おこし協力隊の報告会では、八雲町を多くの人に知ってもらい、多くの人に好きになる言葉がいろいろと強心強い言葉があり、そのために道南地域の繋がりが重要で、道南広域での繋がりを大事にしたいと聞かせてもらった。同じ志を持つ仲間、一員として加わられるように八雲町を応援したい。そして八雲町を応援したい。

議会広報聴常任委員会  
委員 倉地 清子